



2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社カワニシホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2689 URL <https://www.kawanishi-md.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前島 洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 村田 宣治 (TEL) 086-236-1115
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	28,354	14.5	372	359.1	374	351.9	243	—
2019年6月期第1四半期	24,772	△5.5	81	△69.9	82	△69.3	△7	—

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 248百万円(—%) 2019年6月期第1四半期 △4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	43.43	—
2019年6月期第1四半期	△1.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	37,162	6,790	18.1
2019年6月期	33,772	6,771	19.8

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 6,712百万円 2019年6月期 6,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,115	1.3	533	△7.9	539	△7.5	353	△4.9	57.41
通期	110,520	2.9	1,254	△3.7	1,265	△3.4	837	7.9	149.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年6月期1Q	6,250,000株	2019年6月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	639,505株	2019年6月期	639,505株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年6月期1Q	5,610,495株	2019年6月期1Q	5,610,653株

当第1四半期末において、「役員向け株式交付信託」が保有する当社株式116,600株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は283億54百万円（前年同期比 14.5%増）、連結営業利益は3億72百万円（前年同期比 359.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億43百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失7百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

〈医療器材事業〉

医療器材事業の商品分類・地域別の売上高は下記の通りです。

〈第1四半期 医療器材事業 商品分類別・地域別売上高〉

単位：百万円

	中国地方	四国地方	関西地方	東北地方	関東地方 その他	合計
消耗品	8,582 +8.0%	4,404 +7.7%	3,354 +4.1%	4,364 +7.0%	540 +29.1%	21,245 +7.5%
設備・備品	1,375 +78.4%	736 +39.4%	343 +110.4%	1,217 +124.5%	51 +436.3%	3,722 +84.9%

※1 表の売上高は事業会社の単純合算値であり、医療器材事業の売上高とは一致しません。

※2 上段は当第1四半期における売上高を、下段は前年同期比を示しています。

成長の軸となる消耗品全体の売上高は、全体的な手術症例の増加に伴い拡大し、前年同期比7.5%増となりました。その内訳は以下のとおりです。

手術関連消耗品の売上高は、外科関連製品が前期比7.8%増、麻酔関連製品が前年同期比11.0%増と順調に業績を伸ばした結果、前年同期比8.7%増となりました。重点領域として取り組んでいる糖尿病関連製品の売上高も、前年同期比16.3%増と業績を後押ししました。

整形外科消耗品の売上高は、全体的に症例が増加しました。特に前期において新規獲得した施設の症例が順調に推移したことで、前年同期比7.6%増となりました。

循環器消耗品の売上高は、カテーテルアブレーション（頻脈の原因となる心筋組織を焼灼もしくは凝固する治療）に関連する売上が堅調に推移しました。またTAVI（経カテーテル大動脈弁置換）等の心臓に対する新たな治療デバイスは循環器消耗品の業績を牽引しており、その結果、売上高は前年同期比4.8%増となりました。

設備・備品の売上高は、2019年10月の消費税増税に対する特需として、当初の見込みを大幅に上回る各種の機器を受注したことにより、前年同期比84.9%増となりました。

その結果、医療器材事業は、売上高249億69百万円（前年同期比 14.2%増）、営業利益3億91百万円（前年同期比 160.0%増）となりました。

〈SPD事業〉

SPD事業は、前期に新規で受託した施設が順調に稼働したことにより、売上高44億5百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益17百万円（前年同期比 126.7%増）となりました。

〈介護用品事業〉

介護用品事業は、主力の介護用品レンタルが前年同期比5.8%増と安定して推移しました。一方、販売管理費は、西広島営業所の開設等により、前年同期比7.7%増となりました。

その結果、介護用品事業は、売上高5億65百万円（前年同期比 9.4%増）、営業利益22百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

〈輸入販売事業〉

輸入販売事業は、事業の立ち上げにともない先行費用が発生しています。

その結果、輸入販売事業は、営業損失15百万円（前年同期 営業損失33百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は371億62百万円となり、前連結会計年度と比べ33億89百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が14億63百万円、受取手形及び売掛金が12億21百万円、商品が2億60百万円、有形固定資産が2億43百万円、投資その他の資産が83百万円それぞれ増加したことによるものです。

また、負債は303億71百万円となり、前連結会計年度と比べ33億70百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が11億47百万円、短期借入金が25億76百万円それぞれ増加した一方で、電子記録債務が1億2百万円、未払法人税等が2億9百万円、長期借入金が1億5百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は67億90百万円となり、前連結会計年度と比べ19百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により2億43百万円増加した一方で、配当金により2億29百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、1.7ポイント減少し、18.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

おおむね計画通りに推移しており、2019年8月9日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,119,572	2,582,882
受取手形及び売掛金	20,332,382	21,553,404
電子記録債権	952,338	974,280
商品	4,656,454	4,916,666
その他	670,597	718,252
流動資産合計	27,731,345	30,745,486
固定資産		
有形固定資産	3,809,067	4,052,952
無形固定資産		
その他	428,735	477,252
無形固定資産合計	428,735	477,252
投資その他の資産	1,803,149	1,886,442
固定資産合計	6,040,952	6,416,647
資産合計	33,772,298	37,162,133
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,310,936	17,458,099
電子記録債務	5,489,540	5,387,098
短期借入金	1,446,628	4,022,877
未払法人税等	315,748	105,805
賞与引当金	34,135	69,001
その他	1,468,079	1,217,596
流動負債合計	25,065,067	28,260,478
固定負債		
長期借入金	815,000	710,000
役員株式給付引当金	41,118	55,931
退職給付に係る負債	379,290	379,110
長期未払金	312,744	312,744
その他	387,926	653,109
固定負債合計	1,936,079	2,110,895
負債合計	27,001,147	30,371,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	374,704	374,704
利益剰余金	6,457,302	6,471,903
自己株式	△862,355	△862,355
株主資本合計	6,577,401	6,592,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,159	116,229
退職給付に係る調整累計額	4,999	4,201
その他の包括利益累計額合計	108,158	120,430
非支配株主持分	85,590	78,325
純資産合計	6,771,150	6,790,759
負債純資産合計	33,772,298	37,162,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	24,772,761	28,354,972
売上原価	22,195,258	25,487,381
売上総利益	2,577,503	2,867,590
販売費及び一般管理費	2,496,324	2,494,896
営業利益	81,178	372,693
営業外収益		
受取利息	155	182
受取配当金	142	162
受取保険金	830	1,933
受取手数料	2,465	3,195
売電収入	3,336	2,910
その他	2,777	6,330
営業外収益合計	9,706	14,713
営業外費用		
支払利息	5,073	6,294
持分法による投資損失	—	823
売電費用	1,967	1,743
その他	1,026	4,290
営業外費用合計	8,067	13,152
経常利益	82,818	374,254
特別利益		
有形固定資産売却益	—	3,016
特別利益合計	—	3,016
特別損失		
役員退職慰労金	114,003	—
有形固定資産除却損	499	8
特別損失合計	114,503	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31,685	377,262
法人税、住民税及び事業税	34,773	99,500
法人税等調整額	△43,766	41,342
法人税等合計	△8,992	140,842
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,692	236,420
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,810	△7,265
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,881	243,685

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	△22,692	236,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,660	13,069
退職給付に係る調整額	△943	△797
その他の包括利益合計	17,716	12,272
四半期包括利益	△4,975	248,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,835	255,957
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,810	△7,265

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業	輸入販売 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	20,388,699	3,868,605	515,456	—	24,772,761	—	24,772,761
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,478,106	31,535	995	—	1,510,637	△1,510,637	—
計	21,866,806	3,900,140	516,452	—	26,283,399	△1,510,637	24,772,761
セグメント利益又は損失(△)	150,687	7,800	23,954	△33,738	148,703	△67,524	81,178

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△67,524千円には、セグメント間取引消去4,117千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△71,642千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業	輸入販売 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	23,416,042	4,374,068	564,861	—	28,354,972	—	28,354,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,553,341	31,188	390	—	1,584,919	△1,584,919	—
計	24,969,384	4,405,256	565,251	—	29,939,891	△1,584,919	28,354,972
セグメント利益又は損失(△)	391,861	17,682	22,182	△15,486	416,239	△43,546	372,693

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△43,546千円には、セグメント間取引消去4,199千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△47,745千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。